

北海道 公衆衛生学雑誌

ISSN 0914-2630 CODEN HKEZEA

Vol 21 No1 2007

Hokkaido Journal of Public Health

Contents

第59回北海道公衆衛生学会プログラム

メインテーマ 住民の健康を守る包括的チームアプローチ

学会長 札幌医科大学保健医療学部長 丸山 知子
会期 平成19年11月21日・11月22日
会場 札幌医科大学臨床教育研究棟(札幌市中央区南1条西17丁目)

■特別講演

「北海道の保健福祉行政の方向性」
北海道保健福祉部福祉局次長 野村 了

■特別講演

「北海道における子育て支援の課題と提言—NPO法人の立場から—」
NPO法人北海道子育て支援ワーカーズ代表理事 長谷川 敦子

■特別講演

「病気とたたかう子どもたちに夢のキャンプを！」
そらぶちキッズキャンプを創る会事務局長 松本 守

—シンポジウム—

テーマ「特定健診・保健指導のあり方について」
司会 北海道保健福祉部技監 後藤 良一

第59回 北海道公衆衛生学会

学 会 長 丸 山 知 子 札幌医科大学保健医療学部長

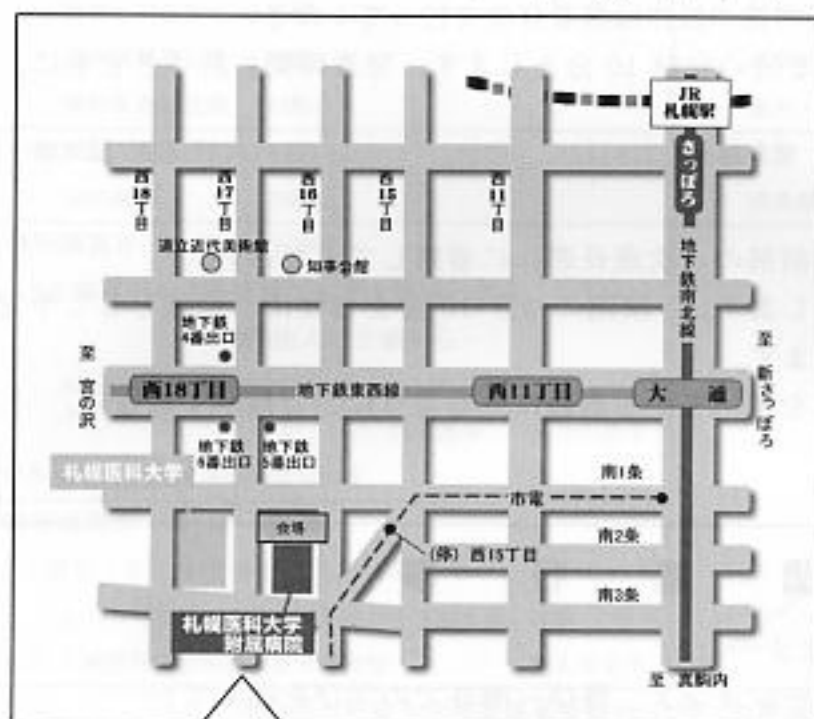
期 間 平成19年11月21日(水)・11月22日(木)

会 場 札幌市中央区南1条西17丁目

第1会場：札幌医科大学臨床教育研究棟1階 講 堂

第2会場：札幌医科大学臨床教育研究棟2階 臨床第1講義室

会 場 案 内 図



- 地下鉄東西線「西18丁目駅」
5番・6番出口から徒歩約5分
- 市電「西15丁目」停留所から
徒歩約5分
- タクシー：「JR札幌駅」から
乗車約10分

札幌医科大学建物配置図



学会運営についてのお知らせ

1 学会参加者の皆さんへ

- (1)会場受付で抄録集代金(2,000円)、参加費(学会員1,000円、非学会員2,000円)を納めてください。なお、一般演題発表者は事前に抄録集代金、参加費をいただいておりますので、一般演題発表者受付で受付をしてください。引き換えにネームプレートをお渡ししますので、所属、氏名を記入の上、着用ください。ネームプレートのない方の入場はお断りします。
- (2)会場施設内および敷地内はすべて禁煙です。
- (3)会場内での呼び出しは行いません。

2 一般演題発表者へ

- (1)発表者は前演者の発表が始まると同時に、会場前部の「次演者席」に着席してください。
- (2)パワーポイントを使用される方は、あらかじめ会場内のパソコンに事務局で最初のページを表示した状態にしますので、その後の操作は演者自身で行ってください。
- (3)1演題につき発表8分、討論2分の合計10分とします。発表時間の終了とともに、進行係が合図をします。

3 一般演題座長の方へ

- (1)前座長の登壇と同時に、会場前部の「次座長席」に着席してください。
- (2)担当の演題発表の進行は一任します。1演題につき10分を目安に、全体として予定時間通りの進行になるようお願いいたします。
- (3)討論に際しては、所属と氏名を述べてから討論に入るように、ご指示ください。

関 連 行 事

◇ 北海道衛生公衆衛生セミナー

テーマ：「ヘルスプロモーションよ、再びー海外での学びを通して」
講 師：湯浅資之（北海道大学医学研究科予防医学講座公衆衛生学分野）
11月21日（水） 17:30～19:00 札幌医科大学記念ホール
参加費：無料

◇ 北海道公衆衛生協会 平成19年度研究集会

テーマ：「人の健康に影響を与える地球環境変化とその将来予測」
講 師：池田元美（北海道大学大学院環境科学院）
11月22日（木） 17:30～19:00 札幌医科大臨床教育研究棟2階臨床第1講義室
参加費：無料

第59回 北海道公衆衛生学会 日程

		第1会場 (札幌医科大学臨床教育研究棟1階 講堂)	第2会場 (札幌医科大学臨床教育研究棟2階 臨床第1講義室)	
11月21日 (水)	午前	学会長挨拶 (9:30~9:40) 札幌医科大学保健医療学部長 丸山 知子	/	
		特別講演Ⅰ (9:45~10:45) 「北海道の保健福祉行政の方向性」 北海道保健福祉部福祉局次長 野村 了 座長 札幌市保健福祉局医務監 藤田 晃三		
		一般演題 5題 (11:00~11:50) 地域保健Ⅰ (5題)		一般演題 5題 (11:00~11:50) 公衆栄養 (5題)
昼	北海道公衆衛生学会評議員会 (1階:共用実習室) (12:10~13:00)		/	
	総 会 (13:10~13:50)			
午後	午後	一般演題 16題 (14:00~17:00) 精神保健福祉Ⅰ (5題) 精神保健福祉Ⅱ (5題) 精神保健福祉Ⅲ (6題)	一般演題 17題 (14:00~17:00) 地域保健Ⅱ (5題) 高齢者保健・介護 (6題) 難病・障害福祉 (6題)	
		一般演題 6題 (9:00~10:00) 学校保健 (6題)	一般演題 6題 (9:00~10:00) 感染症 (6題)	
		特別講演Ⅱ (10:00~11:00) 「北海道における子育て支援の課題と提言 —NPO法人の立場から—」 NPO法人北海道子育て支援ワーカーズ 代表理事 長谷川敦子 座長 札幌医科大学保健医療学部長 丸山 知子	/	
特別講演Ⅲ (11:00~12:00) 「病氣とたたかう子どもたちに夢のキャンプを！」 そらぶちキッズキャンプを創る会事務局長 松本 守 座長 札幌医科大学保健医療学部教授 蝦名美智子				
北海道公衆衛生学雑誌編集委員会 (1階:共用実習室) (12:00~12:50)				
11月22日 (木)	午後	シンポジウム (13:00~14:50) テーマ「特定健診・保健指導のあり方について」 司会 北海道保健福祉部技監 後藤 良一 シンポジスト 北海道保健福祉部保健医療局健康推進課 砂山 圭子 パナソニック エレクトロニックデバイス北海道(株) 小林 麻美 長沼町保健福祉課 五十嵐夕子	/	
		一般演題 12題 (15:00~17:00) 母子保健Ⅰ (4題) 母子保健Ⅱ (3題) 成人保健Ⅱ (5題)		一般演題 11題 (15:00~16:50) 成人保健Ⅰ (5題) 食品衛生・環境保健 (6題)

特別講演 I

第1日 11月21日(水) 9:45~10:45 第1会場(講堂)

「北海道の保健福祉行政の方向性」

演者 野村 了 北海道保健福祉部福祉局次長

座長 藤田 晃三 札幌市保健福祉局医務監

特別講演 II

第2日 11月22日(木) 10:00~11:00 第1会場(講堂)

「北海道における子育て支援の課題と提言—NPO 法人の立場から—」

演者 長谷川 敦子 NPO 法人北海道子育て支援ワーカーズ代表理事

座長 丸山 知子 札幌医科大学保健医療学部長

特別講演 III

第2日 11月22日(木) 11:00~12:00 第1会場(講堂)

「病氣とたたかう子どもたちに夢のキャンプを！」

演者 松本 守 そらぶちキッズキャンプを創る会事務局長

座長 蝦名 美智子 札幌医科大学保健医療学部教授

シンポジウム

第2日 11月22日(木) 13:00~14:50 第1会場(講堂)

テーマ 「特定健診・保健指導のあり方について」

司会 後藤 良一 北海道保健福祉部技監

シンポジスト

砂山 圭子 北海道保健福祉部保健医療局健康推進課主幹

小林 麻美 パナソニック エレクトロニックデバイス

北海道(株)健康管理室長

五十嵐 夕子 長沼町保健福祉課保健師

一 般 演 題

座長及び発表予定時間

第1日 11月21日(水)

第1会場(臨床教育研究棟1階 講堂)

演題番号	座長	予定時間
1~5	廣田洋子(岩見沢保健所)	11:00~11:50
6~10	影山セツ子(天使大学看護栄養学部)	14:00~14:50
11~15	阿保順子(北海道医療大学看護福祉学部)	15:00~15:50
16~21	田邊等(北海道精神保健福祉センター)	16:00~17:00

第2会場(臨床教育研究棟2階 臨床第1講義室)

演題番号	座長	予定時間
22~26	原美智子(天使大学看護栄養学部)	11:00~11:50
27~31	佐伯和子(北海道大学医学部)	14:00~14:50
32~37	山本長史(北海道保健福祉部)	15:00~16:00
38~43	白井英子(天使大学看護栄養学部)	16:00~17:00

第2日 11月22日(木)

第1会場(臨床教育研究棟1階 講堂)

演題番号	座長	予定時間
44~49	稲葉佳江(札幌医科大学保健医療学部)	9:00~10:00
50~53	大野多賀子(札幌市東区保健福祉部)	15:00~15:40
54~56	小関三千代(北海道立衛生学院)	15:40~16:10
57~61	波川京子(札幌医科大学保健医療学部)	16:10~17:00

第2会場(臨床教育研究棟2階 臨床第1講義室)

演題番号	座長	予定時間
62~67	小林宜道(札幌医科大学医学部)	9:00~10:00
68~72	荒田吉彦(室蘭保健所)	15:00~15:50
73~78	小川廣(北海道立衛生研究所)	15:50~16:50

一 般 演 題

発表者のみを掲載しています。

11月21日（水） 午前 第1会場（臨床教育研究棟1階講堂）

地域保健 I

11:00～11:50 座長 廣田 洋子（岩見沢保健所）

- 1 小規模町村における住民が「支援者」となることで期待される効果について
—ある事例検討会参加者の語りから—
本多 朝美（更別村役場）
- 2 十勝保健福祉事務所における地域支援体制整備への取組み 第1報
—〔通称：風プロ〕所内体制整備までの経過について—
堀 健史（帯広保健所）
- 3 十勝保健福祉事務所における地域支援体制整備への取組み 第2報
—〔通称：風プロ〕情報の活用状況と職員の認識度に関する調査—
佐藤 弘枝（帯広保健所）
- 4 東胆振精神保健協会の役割と組織の活性化に向けた取組み（第2報）
草刈 俊之（苫小牧保健所）
- 5 わかりやすい啓発活動をめざして ～体験型講習会等による食中毒予防等啓発事業～
伊藤 奈緒子（札幌市東区保健福祉部）

11月21日（水） 午後 第1会場（臨床教育研究棟1階講堂）

精神保健福祉 I

14:00～14:50 座長 影山 セツ子（天使大学看護栄養学部）

- 6 A町における健診受診者の精神的健康度と関連する因子の検討
森 満（札幌医科大学医学部公衆衛生学講座）
- 7 精神障害者退院促進支援事業に対する医療機関・地域関係者の意識
齋藤 友美子（八雲保健所）

- 8 釧路保健所のひきこもり相談・援助の実態について
渡邊 康子（釧路保健所）
- 9 「ひきこもり当事者の集い」の参加者が体験するグループの価値についての一考察
秋庭 恵子（釧路保健所）
- 10 ロールプレイを用いたグループ支援の効果 ～ひきこもり問題を持つ親の会への活用～
塩川 幸子（釧路保健所）

精神保健福祉Ⅱ

15:00～15:50 座長 阿保 順子（北海道医療大学看護福祉学部）

- 11 精神保健医療福祉の向上を目指した地域ネットワーク活動の充実に向けて
～岩内精神保健医療福祉連絡会参加者の意見からの考察～
館巖 晶子（岩内保健所）
- 12 A地区で活動する精神保健福祉ボランティアから自主的な動きが生まれた要因について
永井 真紀子（渡島保健所）
- 13 ギャンブル依存症支援事業の成果と課題 ～立ち上げからの2年を振り返って～
栗原 南海子（滝川保健所）
- 14 保健所ギャンブル依存症支援事業への技術援助
山中 克哉（北海道立精神保健福祉センター）
- 15 夫から暴力を受けた女性の離別後の健康状態に関する面接調査
澤田 いずみ（札幌医科大学保健医療学部看護学科）

精神保健福祉Ⅲ

16:00～17:00 座長 田邊 等（北海道精神保健福祉センター）

- 16 南宗谷自殺予防事業の取り組み ～うつで死なない、死なせない町づくりを目指して～
志子田 結花（稚内保健所浜頓別支所）
- 17 長沼町におけるうつ・自殺予防対策にむけた取り組み（第1報）
嶋崎 静子（岩見沢保健所）

- 18 長沼町におけるうつ・自殺予防対策にむけた取り組み（第2報）
岩部 由希子（長沼町保健福祉課）
- 19 むかわ町における総合的こころの健康づくり対策の取り組み（第2報）
櫻岡 さおり（苫小牧保健所）
- 20 道内栄養士の抑うつ感とその関連要因に関する研究
蒲原 龍（北海道医療大学看護福祉学研究科）
- 21 スクリーニングを用いた認知症とうつの相談事業 ～相談者の生活背景に焦点をあてて～
佐藤 和彦（恵庭市保健福祉部）

11月21日（水） 午前 第2会場（臨床教育研究棟2階臨床第1講義室）

公衆栄養

11:00～11:50 座長 原 美智子（天使大学看護栄養学部）

- 22 食事バランスガイドを活用した教育による食行動変容段階と健康行動指標の変化について
その1：食行動変容段階改善程度による比較
清水 真理（岩見沢保健所）
- 23 食事バランスガイドを活用した教育による食行動変容段階と健康行動指標の変化について
その2：学習支援方法の違いによる比較
大瀬 真知子（岩見沢保健所）
- 24 都市部における食生活改善推進員が地域活動を継続する理由
－主体的に地域活動を継続する食生活改善推進員へのインタビューを通して－
岸本 あゆむ（札幌市豊平区保健福祉部）
- 25 社会福祉施設に勤務する栄養士の職務満足度とその関連要因
竹内 夕紀子（函館短期大学）
- 26 看護学生の食生活の実態
辰己 朋子（網走保健所）

地域保健Ⅱ

14:00~14:50 座長 佐伯 和子 (北海道大学医学部)

- 27 新任保健師の家庭訪問における支援能力に関する自己評価の変化
ー就職時と現在との比較ー
曳地 里紗(倶知安保健所)
- 28 「保健師の現任教育の構造に関する一考察」～保健所精神保健福祉系の取り組みとして～
水口 真弓(岩見沢保健所)
- 29 中堅保健師の自信のなさへの対処
ー地域保健活動を展開した保健所中堅保健師のインタビューをとおしてー
平野 美千代(北海道大学医学部保健学科)
- 30 行政保健師の家庭訪問の実施に影響する要因についての文献検討
笹原 千穂(日本赤十字北海道看護大学看護学部)
- 31 地域保健従事者に求められる能力に対する保健師指導者の自己評価
ー指導者育成プログラム研修会参加者の分析ー
上田 泉(北海道大学医学部保健学科)

高齢者保健・介護

15:00~16:00 座長 山本 長史 (北海道保健福祉部)

- 32 無医地区高齢者の生活実態調査 ～高齢者の生活実態および在宅生活を支える条件～
山平 昭子(静内保健所)
- 33 北海道鷹栖町および本別町での介護予防訪問による介入研究(1)
ー作業バランス自己診断を利用した試験的研究ー
池野 多美子(北海道大学医学研究科公衆衛生学分野)
- 34 北海道鷹栖町および本別町での介護予防訪問による介入研究(2)
ー認知機能の向上効果の可能性ー
久野 紀子(北海道大学医学研究科公衆衛生学分野)
- 35 介護予防特定高齢者施策の実施状況と効果
中山 司(北海道保健福祉部福祉局高齢者保健福祉課)

- 36 在宅で男性介護者が要介護者に対して行っている食事に関する行動の実態と妻への思い
荒堀 良江（札幌市中央区保健福祉部）

- 37 長寿大学の受講者における反復唾液嚥下テストと食生活との関係
韓 萌（北海道文教大学人間科学部理学療法学科）

難病・障害福祉

16:00～17:00 座長 白井 英子（天使大学看護栄養学部）

- 38 南宗谷難病医療システムの構築に向けた取り組み（第一報）
～保健事業から広域医療連携へ～
佐藤 一美（稚内保健所浜頓別支所）
- 39 南宗谷難病医療システムの構築に向けた取り組み（第二報）
～広域医療連携の充実へ向けて～
堀本 真理（稚内保健所）
- 40 高次脳機能障害者・家族への支援～地域資源を活用した取り組みへの挑戦～
白戸 美沙（苫小牧保健所）
- 41 積雪寒冷地における在宅パーキンソン病高齢者の生活機能
～冬・夏における季節変動の比較～
角谷 里佳（北海道立旭川高等看護学院地域看護学科）
- 42 肢体不自由の身体障がい者に関わる壮年期のボランティアが活動を通して得た経験
佐藤 香織（札幌市西区保健福祉部）
- 43 ALS診断直後の患者の支援のニーズと調整を必要とした課題
佐々木 奈美（札幌医科大学保健医療学部看護学科）

11月22日(木) 午前 第1会場(臨床教育研究棟1階講堂)

学校保健

9:00~10:00 座長 稲葉 佳江 (札幌医科大学保健医療学部)

- 44 中国・ハルビン市大学生における加速度センサー装置での身体活動量測定と唾液中
アミラーゼ活性測定値との関係
尚 爾華(札幌医科大学医学部公衆衛生学講座)
- 45 20歳代前半女子学生に対する子宮頸がん検診受診を促す健康教育
～凝集性のある集団を対象としたピアエデュケーション、グループワークを用いて～
酒井 真依子(北海道立衛生学院地域看護学科)
- 46 体験を取り入れた思春期教育による児童・生徒の意識変化や学び
～子ども健全育成事業の取り組みから～
石戸 あずさ(渡島保健所)
- 47 保健師学生の自己効力に影響する要因
菅井 敬巳(北海道立旭川高等看護学院地域看護学科)
- 48 看護学生と学ぶ嚥下補助剤使用法の工夫
渡邊 朋枝(名寄市立大学保健福祉学部看護学科)
- 49 札幌医科大学「地域密着型チーム医療実習」の取組み評価 ～学生の自己評価を通して～
今野 美紀(札幌医科大学保健医療学部看護学科)

11月22日(木) 午後 第1会場(臨床教育研究棟1階講堂)

母子保健Ⅰ

15:00~15:40 座長 大野 多賀子 (札幌市東区保健福祉部)

- 50 幼児期の子どもの偏食の実態と母親の対応
～幼児期の子どもをもつ母親へのインタビューを通して～
江村 知香(むかわ町役場健康いきがい課)
- 51 母と子の健康と食生活習慣調査から
片倉 洋子(札幌医科大学保健医療学部看護学科)

- 52 1歳6か月児健康診査で保健師が捉えた「不適切な養育」の実態
松原 三智子（札幌医科大学保健医療学部看護学科）

- 53 生後18ヶ月の神経芽細胞腫マスキリーニングについて
阿部 敦子（札幌市衛生研究所）

母子保健Ⅱ

15:40~16:10 座長 小関 三千代（北海道立衛生学院）

- 54 母親が受けているソーシャル・サポートの実態とそのうけとめ
—農村地域で2、3ヵ月児を子育てする母親へのインタビューを通して—
疋田 育世（北海道社会保険病院）
- 55 海外在住邦人に対する育児支援の課題
波川 京子（札幌医科大学保健医療学部看護学科）
- 56 家庭での喫煙者の有無と乳幼児の口腔内状況との関連性について
中山 佳美（帯広保健所）

成人保健Ⅱ

16:10~17:00 座長 波川 京子（札幌医科大学保健医療学部）

- 57 地域におけるメタボリックシンドローム予防の栄養管理の試み
原 美智子（天使大学看護栄養学部栄養学科）
- 58 糖尿病患者が普段と違う場所でインスリン注射をする時の体験
佐藤 舞子（札幌医科大学附属病院）
- 59 骨髄バンク登録に関する意識調査
三瀬 敬治（札幌医科大学医学部衛生学講座）
- 60 トラック運転手の健康状態と対処行動の特徴
清水 由希恵（音威子府村役場）
- 61 家庭での歯科保健意識調査結果について
政村 多江子（千歳保健所）

11月22日(木) 午前 第2会場(臨床教育研究棟2階臨床第1講義室)

感染症

9:00~10:00 座長 小林 宣道 (札幌医科大学医学部)

- 62 高等学校における性感染症の予防教育に関する実態調査
—高校教諭に対する調査から—
池田 栄子(倶知安保健所)
- 63 STI感染リスク行動変容を目的としたエイズ教育の試み: 続報
廣岡 憲造(旭川大学経済学部)
- 64 高校生がエイズは自分の問題であるという認識を高め行動段階が行動化に向かう要因について—エイズ予防啓発パンフレット作成の活動から—
木村 章子(苫小牧保健所)
- 65 結核定期外健康診断の受診行動を阻害する要因
勝藤 裕子(江別保健所)
- 66 2006年度の北海道におけるインフルエンザの疫学調査
伊木 繁雄(北海道立衛生研究所)
- 67 札幌市における麻疹小流行(平成18年12月~平成19年1月)
高橋 恭子(札幌市保健所)

11月22日(木) 午後 第2会場(臨床教育研究棟2階臨床第1講義室)

成人保健 I

15:00~15:50 座長 荒田 吉彦 (室蘭保健所)

- 68 生活習慣と血管年齢の関連性の検討: 札幌市国保ヘルスアップモデル事業の結果から
坂内 文男(札幌医科大学医学部公衆衛生学講座)
- 69 江別保健所における結核定期外健康診断の現状について
佐藤 法子(江別保健所)
- 70 「中央区健康づくり元気会」会員の健康に関する意識調査について
斉藤 佳代子(札幌市中央区保健福祉部)

- 71 道内の保健所におけるたばこ対策の進捗状況
 廣田 洋子（岩見沢保健所）
- 72 ダイエット教室終了後の追跡調査 ～1年以上経過した者のリバウンド状況について～
 大森 恩（釧路市こども保健部健康推進課）

食品衛生・環境保健 15:50～16:50 座長 小川 廣 （北海道立衛生研究所）
--

- 73 食肉のカンピロバクター汚染実態調査と使用培地の検討
 坂本 裕美子（札幌市衛生研究所）
- 74 いわゆる健康食品に添加されていた医薬品成分について
 平間 祐志（北海道立衛生研究所）
- 75 市販リンゴジュース中のパツリンの分析
 青柳 光敏（北海道立衛生研究所）
- 76 魚介類及びその加工食品（缶詰）中の総水銀濃度
 西村 一彦（北海道立衛生研究所）
- 77 札幌における AOT 40 を用いたオゾン評価について
 恵花 孝昭（札幌市衛生研究所）
- 78 2007 年の道内 6 都市におけるシラカバ花粉飛散状況調査
 小林 智（北海道立衛生研究所）

第 59 回北海道公衆衛生学会運営役員

学 会 長	札幌医科大学保健医療学部	学 部 長	丸 山 知 子
副 学 会 長	北海道保健福祉部	技 監	後 藤 良 一
副 学 会 長	札幌市保健福祉局	医 務 監	藤 田 晃 三

幹 事	北海道保健福祉部保健医療局医療政策課	医 療 参 事	栗 井 是 臣
幹 事	北海道大学医学部保健学科	教 授	佐 伯 和 子
幹 事	天使大学看護栄養学部看護学科	教 授	白 井 英 子
幹 事	北海道立衛生学院教育課地域看護学科	教 務 主 幹	小 関 三 千 代
幹 事	札幌医科大学医学部公衆衛生学講座	教 授	森 満
幹 事	札幌医科大学医学部衛生学講座	教 授	小 林 宣 道
幹 事	札幌医科大学保健医療学部看護学科	教 授	波 川 京 子
幹 事	札幌医科大学保健医療学部看護学科	教 授	稲 葉 佳 江

事務局

事 務 局 長	札幌医科大学保健医療学部看護学科	准 教 授	和 泉 比 佐 子
事 務 局 次 長	札幌医科大学保健医療学部看護学科	講 師	高 橋 由 美 子
事 務 局 員	札幌医科大学保健医療学部看護学科	教 授	吉 野 淳 一
事 務 局 員	札幌医科大学保健医療学部看護学科	准 教 授	今 野 美 紀
事 務 局 員	札幌医科大学保健医療学部看護学科	准 教 授	片 倉 洋 子
事 務 局 員	札幌医科大学保健医療学部看護学科	准 教 授	堀 口 雅 美
事 務 局 員	札幌医科大学保健医療学部看護学科	准 教 授	澤 田 い ず み
事 務 局 員	札幌医科大学保健医療学部看護学科	講 師	松 原 三 智 子
事 務 局 員	札幌医科大学保健医療学部看護学科	講 師	福 良 薫
事 務 局 員	札幌医科大学保健医療学部看護学科	助 教	木 島 輝 美
事 務 局 員	札幌医科大学保健医療学部看護学科	助 手	浅 野 神 奈